

友の会活動雑感

理事 山本洋正（さいたま市）

友の会活動内容は多岐にわたりますが、現在私が担当している中に、バス見学会があります。思い起こせば、現役で働いていた頃は友の会バス見学会に参加する機会もなかなかできなかったのですが、それでも10年くらい前には比較的参加していました。渋沢栄一翁の史跡がある深谷、火縄銃演舞や歌舞伎が強く印象に残った小鹿野町、比企城館跡群を歩き回った嵐山町など、多彩な場所に行くことが出来て感動を覚えました。その後仕事が忙しくなり参加することが減ってしまいました。退職後、埼玉県立歴史と民俗の博物館でのボランティア活動を本格的に始めました。

見学会の企画運営は、一人だけでできるものではありませんのでチームで行います。まず見学場所の選定ですが、プランを持ち寄って検討するわけですが、やはり個人や仕事であちこち現地を見ている方の情報はとても役立ちます。

その次に、行き先との交渉があります。見学先では案内や解説をしていただくために、現地のガイド会や学芸員、時にお寺の住職などをお願いをします。担当会員が直接案内することもあります。そのため、それらの情報収集と関連パンフレットをいただくために、現地役所の観光関連部署や博物館などを訪れます。ですので、下見に行くことが欠かせません。1日ばかりで現地へ出かけることとなります。そのときに本番当日のタイムスケジュールも考えていきます。それから昼食とか買い物ができる場所は楽しみの一つですから、どこがいいのか場所の選定も行います。

1か月前くらいになると、「JUNO」へ参加者募集の記事掲載となります。これも担当者がいます。参加者へ配付するものに、パンフレット類のほかに、当日見学する場所をコンパクトに解説した「しおり」があります。それを私が作成しています。

見学会は大型バスを使用する機会が多いので、バス会社との連絡を密にしておかないといけません。大変重要ですので担当者がおります。バス見学会は、個人では回りきれない見学ポイントを一日で効率的に行動できるメリットを持っています。

友の会見学会は日頃行けない史跡等を見られる良い機会ですので、ぜひ参加してみてください。また、以上のような企画運営にご興味のある方はぜひスタッフとしても参加してください。お待ちしております。



写真は先日の「栃木」へのバス見学会の様

次回の友の会理事サポーター会議：5月25日（土）10時より総会

友の会の通常総会を開催します。ご参加よろしくお申し込み申し上げます

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会通常総会

- ・日時 2019年（令和元年）5月25日（土）
午前10時から11時（午後は講演会です）
- ・場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂
- ・内容 ①2018年度事業・収支報告②2019年度収支予算・事業計画案③その他

会の活動にご参加・ご協力ください

友の会では、今後の活動の継続と発展のためボランティアスタッフの募集を行っています。見学会の企画運営、講演会の企画運営、会報の編集作業は皆様の多様な意見を反映させる機会です。その他の作業も面白く、やりがいがあります。関心のある方はEメール、FAX、ホームページからの連絡フォームなどでご連絡願います。

今後のイベントスケジュール

*申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- | | | |
|-----------|-----------------------|---------|
| ○4月14日（日） | まち歩き研究会「大本山増上寺と東京タワー」 | <前号で紹介> |
| ○4月21日（日） | 講演会「海の正倉院・沖ノ島」 | <前号で紹介> |
| ○5月4日（土） | 円空仏研究会（御開帳拝観・春日部） | <今号で紹介> |
| ○5月8日（水） | まち歩き研究会「志木の富士塚と舟運遺産」 | <今号で紹介> |
| ○5月16日（木） | 第1回／円空仏研究会の集い | <今号で紹介> |
| ○5月18日（土） | 古道探索倶楽部「日光街道あるき その1」 | <今号で紹介> |
| ○5月18日（土） | 古代文化を考える会 | <今号で紹介> |
| ○5月25日（土） | 友の会総会・講演会 | <今号で紹介> |

埼玉県立歴史と民俗の博物館 新しい人事（平成31年（2019年）4月1日より）

■お世話になりました。

退職

(館長)
(副館長)
転出

関 義則
田中裕子

(新所属・職名)

さきたま史跡の博物館 主席学芸主幹

(企画担当) 学芸主幹
(展示担当) 学芸主幹
(施設担当) 主任

加藤かな子
井上かおり
小林正幸

(新所属・職名)

文書館 古文書、史料編さん担当 学芸主幹
文化資源課 博物館担当 主幹
県立秩父農工科学高校（定） 担当課長

■よろしくお願ひします。

転入他

(市町村支援部参事) 館長
(総務施設担当) 教育主幹
(展示、資料調査・活用担当) 主席学芸主幹
(企画・学習支援担当) 主席学芸主幹
(企画担当) 学芸主幹
(施設担当) 主任
(企画担当) 主任専門員兼学芸員
(総務担当) 主事
(学習支援担当) 学芸員
新採用職員（展示担当）学芸員
臨時的任用職員（展示担当）学芸員

小澤健史
代島常造
書上元博
岡本健一
君島勝秀
大野 樹
利根川章彦
上野翔子
安達 愛
町田歩未
太田有紀

(前所属)

教育総務部長
熊谷図書館館長
さきたま史跡の博物館 主席学芸主幹
さきたま史跡の博物館史跡整備担当学芸主幹
文化資源課埋蔵文化財担当 主幹
西部教育事務所
嵐山史跡の博物館 学芸担当主任
和光高校 主事
文化資源課 芸術文化推進担当主事

鎌倉街道を訪ねてー羽根倉道番外編3

古道探索倶楽部 3月30日に開催

羽根倉道番外編3は、天候不順による延期で計画したこの日も空模様が危ぶまれる中、集合場所である埼京線戸田公園駅には23名の方が参加していただきました。荒川を渡る「早瀬の渡し場」碑は、笹目橋のたもとにあり、源頼朝が下総国府を出発し、荒川を渡り武蔵国府へ向かった場所と云われています。この渡しから北へのびる道筋はかつて左々目郷を南北に貫通しており、美女木八幡社の創立が鎌倉と云われる古社であることからその当時よりこの渡しが重要であったことが推測されます。笹目橋を渡り、板橋区。「鎌倉古道しつたり坂」を越えると徐々に高台へと続き、赤塚の諏訪神社に到着する。ここの祭神は、建御名方命、赤塚城主千葉自胤(よりのたね)が長録年間に諏訪大社より勧請したと伝わる。獅子舞、富士塚、田遊び等が文化財として伝わっている。

「区立郷土資料館」では、区内出土土器、古文書、民俗資料(田遊びDVD等)、古民家(旧田中家住宅)を見学。すぐわきの緩い坂道をのぼっていくと、坂は険しくなり赤塚城跡の本丸に繋がり、三方が急崖によって防御されていることがわかる。周囲より十メートルの比高を有しているなかなか立派な平山城である。(略 ブログに詳細)

応永年間に創建された乗蓮寺は、昭和46年～53年に赤塚城二の丸の当地に移転した。それに併せて青銅製の高さ13mの通称「東京大仏」がつくられ、奈良・鎌倉の大仏とともに日本三大仏と称しています。「松月院」は、武蔵千葉氏が、赤塚城を築いた際に、地元にあった寺を千葉氏の菩提寺とし、松月院、として創建した。千葉自胤の墓があるものである。境内には、幕末の砲術家高島秋帆の碑がある。西洋式調練や実弾射撃訓練をこの下の徳丸が原(現在の高島平)で行ったとされる。見所に富んだツアーとなった。



◆志木の富士塚と舟運・治水遺産◆

2019年(令和元年)5月8日(水)に「まち歩き研究会」

《日時》2019年(令和1年)5月8日(水) 10時00分～14時00分 約2時間程度の歩行になります

《集合》東武東上線 志木駅 改札前 午前10時 集合 小雨開催(各自の判断)

《費用》交通費各自 保険と参加費用:300円

《持物等》飲物・お弁当など持参

《概要・行程》志木の田子山富士塚は埼玉県指定の有形民俗文化財です。富士塚以前の板碑が確認され歴史的にも貴重。地元保存会が新河岸川舟運や江戸時代の総囲堤防など詳しく案内。行程は、志木駅⇒田子山富士塚⇒親水公園で昼食休憩⇒新河岸川舟運と江戸時代の堤防など⇒宗岡浅間神社富士塚⇒与野方面バス便あり

《申込・問合せ》①なるべく「ホームページ」の「申込フォーム」より送信フォームをお願いします。

②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp ③FAX: 048-470-2758 も可能

◆第28回鎌倉街道を訪ねて 日光道中その1◆

2019年(令和元年)5月18日(土)「古道探索倶楽部」のお知らせ

《日時》2019年(令和1年)5月18日(土) 9時30分～15時30分(予定)

《集合》東武伊勢崎線 竹ノ塚駅 改札口周辺 9:30

《コース》東武伊勢崎線竹ノ塚駅⇒竹塚神社⇒延命寺⇒宝積院⇒保木間氷川神社⇒大乘院⇒富士浅間神社⇒善福寺⇒火あぶり地蔵尊⇒地蔵堂⇒浅古家の蔵造⇒東武伊勢崎線草加駅 歩行距離は約10kmで、史跡巡りをいれると11km少々です。歩きやすい服装・靴で。

*新シリーズ日光道中歴史散策は、東武伊勢崎線竹ノ塚駅より栗橋駅までの8回

《費用》資料代等・参加費 300円

《その他》途中にコンビニが少ないので、お弁当と飲物は必ず事前に御用意願います。

《問合せ先》前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

《参加申込み》5月10日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記し〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて

戦勝祈願にみる戦国大名の宗教観

戦国時代は信仰の時代であったという。明日をも知れぬ戦国の乱世に生きる戦国大名たちは、戦の勝敗は単に軍事力のみで決まるのではなく、人間の力を超えた摂理によると考えていたようである。そのためいづれの戦国大名も戦いに際しては神仏に戦勝祈願を行うのが常であった。また戦場に赴くものは神仏の加護を祈った守りを携行したし、軍旗にも宗教的言辞を記したものが用いられているという。「生き残るためには、強い生命のエネルギーに加え、強固な信仰が必要であったからである。」とのことである。

今回は著名な戦国大名の願文などをてがかりに、一般的には無神論者と言われる信長の宗教観や、キリシタン大名たちの様相も含め、戦国びとの信仰のかたちを、その信仰の底流にある「天道」思想にふれながらお話しいただく。

講師 神田千里 先生

[東洋大学文学部教授]

日時 2019年5月25日(土) 午後1時半～3時

場所 当館講堂

東武アーバンパークライン(東武野田線)

大宮公園駅下車徒歩5分

参加費用 300円

当日は返信はがきをお持ち下さい。

ご参加のお申し込みは、**往復はがき**に イベント名・住所・氏名・電話番号・会員の方は会員番号 を明記、返信面にも住所・氏名を記入の上、下記宛先まで。
〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会
締切:2019年5月15日(水) 定員(150名)を超えた場合はお断りすることもあります。

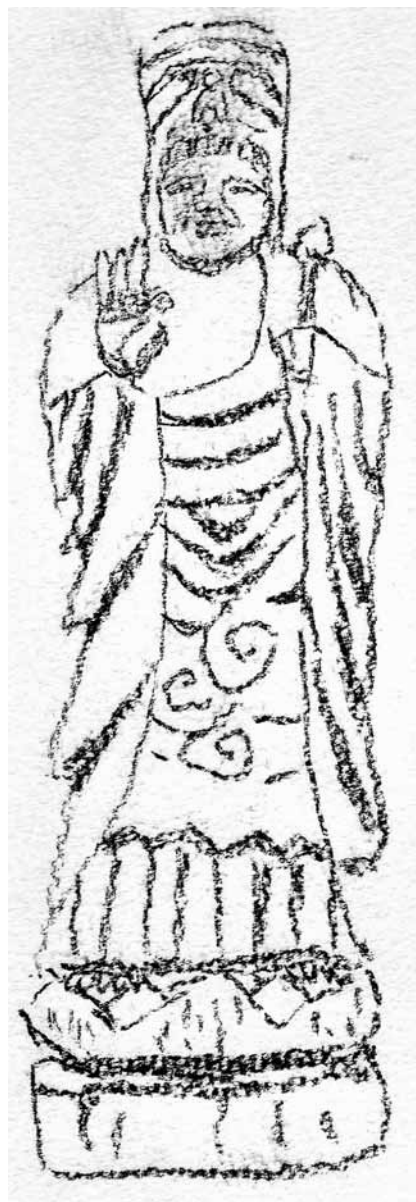
※「友の会ホームページ」の「申し込みフォーム」からも応募できます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

小湊観音院・春日部市

円空仏

御開帳拝観



日時：5月4日（土）午前9時30分集合

集合：北春日部駅改札口前集合

参加費：600円（拝観料・保険料）

申込み：通常はがきに、

拝観見学会・研究会の集い（詳細は下記参照）

参加（両方ご参加の方は両方参加）を明記し、
会員番号・氏名・住所・電話番号をお書きの上、
〒337-0042 さいたま市見沼区南中野 1183-10
斉藤文孝 宛へお送りください。

メールでの申込みは、

fumitaka51@tbz.t-com.ne.jp まで
当日簡単な資料をお渡しします。

——円空仏ノートを作ろう！——

- ・第1回／円空仏研究会の集い
- ・5月16日（木）午後1時30分～3時
- ・埼玉県立歴史と民俗の博物館・講座室（講堂の隣）
- ・資料コピー代：200円

埼玉県には130体余りの円空仏があるといわれています。でもその円空仏が何時・何処で拝観できるのか、私達にはよくわかりません。そこで皆さんと一緒に情報をかき集めて「円空仏ノート」を作り、一緒に拝観しようというのがこの会の目的です。円空仏大好き人間集まれ——！

新しい視点で学ぶ古代史

＝ふんだんな資料をもとに、記紀には書かれていない日本古代史の復元を試みる研究会の立ち上げのお知らせ＝

この度「埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会」傘下の活動として『古代文化を考える会』を立ち上げましたのでお知らせするとともに、当会への参加を募集いたします。

古代史に関心をお持ちの方はお気軽にご参加ください。

1. 研究会名称

『古代文化を考える会』

2. 活動内容・会場・費用

当面、古代史研究家「佃 収先生」をお招きして、原則3か月に1回のペースで、『日本人の起源から奈良時代初期までの新しい「日本の古代史」』を学ぶことにしました。先生は‘日本古代史の通説’に疑問を呈し、真実の追求に取り組んでおられます。日本書紀は勿論、中国史書など豊富な資料に基づく研究成果は拝聴するに十分な価値があるかと存じます。

佃 収先生の略歴

- ・1939年9月29日生まれ 熊本県立玉名高等学校、東京教育大学理学部数学科卒業
- ・コンピュータ販売会社勤務 1995年退社
- ・「東アジアの古代文化を考える会」会員 『古代文化を考える』（同人誌）事務局
- ・越谷市在住 ・ホームページ：tsukudaosamu.com

□会場は基本的には「埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂」

□費用は資料代として1回当たり500円をお願いしたく存じます。

3. 参加ご希望の方

参加をご希望の方は「はがき」に①『古代文化を考える会』に参加したい旨と、②住所・氏名・電話番号③友の会の会員は会員番号を明記し、下記宛てご連絡ください。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会「古代文化を考える会」

なお第1回研究会（5月18日）に出席される方は、参加申込に併せ、当日の出欠も併せお知らせください（資料準備のため）。なお当方からのご出席承諾のご返事は差し上げませんのでご了承ください。

4. 第1回研究会の開催日

日時：2019年5月18日（土） 13:00～16:00

テーマ：「日本人の起源と倭人の移動」

〔会場：「埼玉県立歴史と民俗の博物館」講堂（東武アーバンパークライン - 東武野田線 - 大宮公園駅下車 徒歩5分）〕

照会先：齊藤 (048-853-6728)

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 『古代文化を考える会』